

科目名 ナースがみる人体	授業担当者 渡部 絵美	所属 中通高等看護学院	
開講時期: 中期～後期	単位数: 1 単位	時間数: 30 時間	
授業の目的 人体の構造と機能を日常生活行動に関連付けて学び、看護の視点を養う。			
授業の概要 普段意識せずに行っている「食べる」「トイレに行く」「眠る」などの日常生活行動は、人間の生命活動につながる営みであり、すべて人体の構造と機能の上に成り立っている。既習の「人体の構造」「人体の機能」「生化学」などの知識を人間の生活行動に当てはめ、からだがどのように生活行動を成し遂げているのかを学ぶ。からだのつくりとはたらきのイメージ化(からだの地図帳作成、模型作成、からだに触れる、体験する、測定するなど)や、学び合い学習(生活行動がどのようなからだのつくりとはたらきによって成し遂げられているかグループ学習し、学生が講師となり授業を行う)の手法をとる。			
受講上の注意・事前学習の内容 個人ワークでは、担当するカテゴリーについて自己学習を行い、グループワークでは、自己学習を基に授業内容を決定し、スライド資料や教材資料を分担して作成していく。資料作成のために自己学習した内容や収集した資料等は全て印刷し、ポートフォリオに綴ること。			
授業回数	学習内容	方法	備考
1	学生授業の学習目標・授業内容の決定・からだの白地図作成	講義 グループワーク	
2	学習目標・授業内容の明確化、教材検索、自己学習	グループワーク 個人ワーク	
3	授業資料・教材の作成、自己学習	グループワーク 個人ワーク	
4	授業資料・教材の作成	グループワーク	
5	授業資料・教材の作成	グループワーク	
6	授業資料・教材の作成、授業進行の打ち合わせ	グループワーク	
7～14回は順不同(各授業内容は学生の意向により変更する場合があります)			
7	「恒常性維持」(血液による物質の流通、神経性調節、液性調節 など)	学生授業・講義	
8	「息をする」(息を吸う・吐く、ガス交換 など)	学生授業・講義	
9	「動く」(立つ、歩く、座る、つかむ、つまむ など)	学生授業・講義	
10	「食事」(食欲、食行動、咀嚼・嚥下、消化・吸収 など)	学生授業・講義	
11	「排泄」(排尿:尿の生成、尿意、排尿)(排便:便の生成、便意、排便など)	学生授業・講義	
12	「見る・聞く・話す」(視覚、聴覚、発声、言葉 など)	学生授業・講義	
13	「入浴」(垢を落とす、温熱作用、静水圧作用、浮力作用 など)	学生授業・講義	
14	「睡眠」(サーカディアンリズム、睡眠中のからだ、記憶 など)	学生授業・講義	
15	まとめ・からだの白地図作成	講義	
テキスト 系統看護学講座 専門基礎 解剖生理学 医学書院 系統看護学講座 専門 基礎看護技術Ⅱ 医学書院			
参考書・指定図書 菱沼典子著 看護 形態機能学 生活行動からみるからだ 日本看護協会出版会 からだが見える 人体の構造と機能 第1版 メディックメディア 病気がみえる vol.1～4・7・8・11～14 メディックメディア			
評価の方法 7～14回目の小テスト:8点×8回分、 ポートフォリオ・からだの地図帳:6点、自己学習・グループワークへの参加状況・学生授業の内容:30点			

*この科目は実務経験のある教員による科目となります